

がん悪性度の簡易診断用プローブセット

主たる提供特許

出願者 国立大学法人長崎大学

題名 TERTプロモーター変異を検出するプローブセット

番号 特願2019-042060

C250T、C228Tを同時検出ができるプローブセットを開発した。

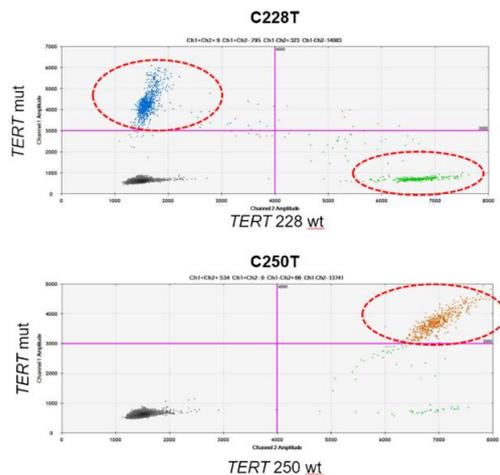
技術概要

発明の背景

- ・テロメラーゼ逆転写酵素(TERT)遺伝子のプロモータの変異は、特に甲状腺がんにおいて高悪性度および予後不良と強く関連している。
- ・上記変異は、C250T、C228Tの二つがよく知られている。

発明概要

- ・C250T、C228Tを同時検出ができるプローブセットを開発した。
- ・デジタルPCR装置を使用すれば、微量な試料からも検出が可能。



応用分野

実用化例

がん、特に甲状腺がんにおける悪性度診断

実用化に向けた課題

企業へのメッセージ

- ・従来方法は2回必要であったPCR判定が1回で可能です。